

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		ことばの森annex					公表日	2025年7月31日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○					
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○					
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○					
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○			教材の場所や環境整備について検討が必要		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○					
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○					
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○					
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○					
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○				
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○					
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○					
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○					
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○					
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○					
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		発達検査結果を共有させていただいている 希望に応じて事業所内でも発達検査を実施している			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○					
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○					
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○					
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○					

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○			朝礼は必ず行う 個別支援のため、支援終了後は職員間で情報共有を行ったり、相談し合ったりして次回の支援に繋げている
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○			直接連携し相互理解を図るより、保護者を仲介するケースが多い。少しずつ増やしていきたい
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○			
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)	○			自治体や医療連携先、スーパーバイザー等にアドバイスをもらう機会を作っている
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイザーや助言等を受ける機会を設けているか。				
保護者への	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		○		
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○			
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○			ペアレントトレーニング、さらなる家庭支援の充実に対するニーズ調査を行っていく必要がある
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○			
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○		保護者会のニーズ調査を行う必要がある

説明等	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○			
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○			
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○			
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○			
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○			利用前にアレルギーの有無の確認をしている 事業所内で食事の提供は行っていないが、施設内は飲食禁止としている
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○			
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○			
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		職員に対し、マニュアルの整備や研修を行っています 今年度対象児童は居りません	今後必要な場合には十分に検討し、丁寧な説明を行うとともに、身体拘束の適正化に努めます

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 ことばの森annex

公表日 令和 7 年 7 月 31 日

利用児童数 66名 回答数 56名 回答率 85%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	56	0	0	0	広くて開放感があり、のびのびとした環境がポジティブ／清潔で広さも十分だと思う／清潔感がある／十分な広さがあり、のびのび活動できています	施設基準を満たしていますが、利用状況に応じて工夫していきます
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	49	4	0	3	適切な人数だと思う／希望の時間帯での通所が難しいこともあり、利用時間帯が増えると良いと思う時もある…	人員基準を満たし、加配の職員も配置した体制となっています 利用枠については建物の構造上、現在のご案内が最大枠となっていますので、希望時間帯の利用については空が出た場合にご案内させていただきます
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また事業所の設備等は、障害特性に応じてバリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	49	3	2	2	活動しやすく安全にも配慮されている／下の子を連れていたため、おむつ替えのスペースがあったら助かります／バリアフリーとは言えないと思います	利用者に合わせた合理的配慮を工夫しています おむつ替えスペースについては、施設の構造上、専用スペースの確保は難しい状況ですが、今後も来所時の負担軽減について検討いたします 玄関入口や施設内に階段がありますが、手すりの設置、階段幅の確保等東京都のバリアフリー条例の条件を満たした施設です
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	56	0	0	0	良い環境が整っている／掃除も行き届いており安心して過ごせる／とてもきれいに掃除もされていて清潔な空間です	日頃から衛生管理を徹底し、清潔で心地よく過ごせる環境を整えています
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	54	1	0	1	発音矯正に特化し、効果も抜群で短期間で改善が見られた／個別性にあったプログラムを受けている／先生がいつもとても丁寧に子どもの気持ちやペースに寄り添ってくださっています／言語療育に特化しているため、いろんなアプローチで言語力を高める試みをしていてくれる／強めに指示したほうが良いと思う時もあったが、慣れるとそれもなくなったので	発音や言語に関する検査や保護者からのアセスメント等を基に計画立案を行っています
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	53	0	0	3	合っている	HPにて支援プログラムを公表しています
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	54	1	0	0	親からのヒヤリング、プロのアセスメントに基づいた計画である／子の集中力に合わせて最後までやり遂げる課題だと思う／子どもの特性をよく見て合わせた療育を行って頂いています	引き続き、お子さまや保護者様からのご希望を伺い、支援に繋がるよう計画立案を行っていきます
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	50	1	0	5	できている／まだ初期の段階なのでわからない	引き続きより良い支援となるよう、努めていきます
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	53	0	0	2	行われている／まだ初期の段階なのでわからない	計画に沿って支援を行っています 内容についてご質問がありましたら、ご遠慮なく担当までお声掛けください
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	51	1	0	4	発音から発語にプログラム内容が変わるタイミングでポケモン等を取り入れるなどの変化があり、工夫があった。教材のえほんが簡単すぎると思うところはある／その日の子供の状況にあったものを受けられている／毎回少しずつ変化があり、子自身が「今日は何するかな」と楽しみにしている／繰り返すことが必要なこともあるので、ある程度の固定化は必要だと思う／まだ数回の利用の為何とも言えない	引き続き、固定化しないよう、お子さま一人ひとりの特性や気持ち・興味に合わせて取り組める内容となるよう努めていきます
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	20	5	12	19	まだ始めたばかりで未経験／他のお子さんと遊ぶ機会は毎日あります／療育施設の中でも専門的な施設のため、園との交流までは求めていない／こちらの事業所を通じての機会はなかったが、不要だったので問題ない	利用者の多くは保育園・幼稚園に通園中の為、事業所としての活動機会は設けていません
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	53	1	1	1	忘れてしまったないしは妻が聞いたかも／細やかな説明があり、不安なく利用開始できた	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について、契約時に丁寧に説明するとともに事業所内に重要書類を閲覧できるように設置しています
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	53	1	0	2	十分な説明があった	引き続き丁寧な説明に努めます

保護者への説明等	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	23	6	5	22	まだ始めたばかりで未経験／家でできる子どもへの対応（絵本の読み聞かせ方等）を提案していただいた／プログラムとは異なるかもしれませんが、家庭でできる練習等適宜指導を受けていると思います	プログラムとして行っていませんが、令和7年度より心理士による面談の機会を設けています オンラインも対応していますので、お気軽にご相談ください
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	52	3	0	1	フィードバックを毎回いただいている／引継ぎもしっかりされている印象で、過去と現在の差（成長具合）も理解してくださっています／言語面の発達については共通理解はできていると思う	毎回の支援終了後にご家族へのフィードバックを必須としていますので、その際にご相談や日常の様子の共有等を行います
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	43	5	2	5	相談に対して適切な回答を頂けている／毎回の療育の後に先生からのアドバイスを頂けている／面談はないが特に不満はない	引き続きお子さまやご家族が安心して利用いただけるよう努めます
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	52	3	0	1	親も子も安心して通えるような声かけや雰囲気がある	
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	4	5	15	30	療育施設の中でも専門性が高く、利用頻度も多くはないので、そこまでの支援は求めているない／個別に相談を受けてくださり十分	当事業所では実施していません 実施については必要に応じて検討していきます
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともにこどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	37	4	0	14		いつでもご相談いただけるような環境を整えることを意識しています 【令和7年度心理士による面談対応中】 またお話しいただいた内容については、迅速な対応を心掛けています
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	51	3	0	2	毎回活動内容の意図や状況を丁寧に説明いただいている／LINEにて連絡が取れるのありがたいと感じている	引き続き連携がとれるよう、お子さまやご家族とのコミュニケーションを大切にしていきます
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	33	4	3	16		あなつくす通信やHP、LINE等を利用し、情報を発信しています
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	52	1	0	2	しっかり管理されていると思いました	引き続き個人情報の取扱いについて十分に留意していきます
非常時等の対応	23	事業所では、各マニュアル（事故防止、緊急時対応、防犯、感染症対応等）が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	33	4	3	16		各種マニュアルは玄関付近に備え付けてあります 避難訓練や感染症、防犯等マニュアル整備を行っているものについては社内研修等を行っています
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	18	7	2	29	実施のお知らせを見たことがある	定期的に避難訓練を実施しています 実施の際はLINEや掲示などでお知らせしています
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	40	5	0	11		安全計画を策定し、社内研修を行っています
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	23	6	1	26	該当なしの為不明とした	事故対応についてはマニュアルの策定、社内研修、ヒヤリハット報告など日頃から安全に留意しながら支援を行っています
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	52	3	0	1	とても安心して通所している様子です	引き続き、皆さまが安心して通えるように、またお子様の成長につながる支援を提供できるように事業所運営を行っています
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	48	4	1	3	父親と通うのが嫌なのかもしれないが、家から連れ出すのに苦労している。負荷を楽しむ年頃ではないので、当然の反応ではあると思うので、質問自体がナンセンスだと思う／求めた効果が得られている／苦手なことに取り組んでいるため、行きたくないということがある／毎週楽しみに通っており、自宅での祝誕にも前向きに取り組めている／通い始めて3カ月ほどですが、嫌がらずに通所できています／毎週、「先生のところ行くの楽しみー！」と言っています	
	29	事業所の支援に満足していますか。	54	2	0	0	マンツーマンで手厚く見て頂けていて満足しています／ありがとうございます／子どもに合わせ都度レッスン内容を調整頂き、とても楽しく通うことができています	

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ことばの森annex			
○保護者評価実施期間	2025年6月20日		～	2025年7月19日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	66	(回答者数)	56
○従業者評価実施期間	2025年7月1日		～	2025年7月14日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数)	8
○事業者向け自己評価表作成日	2025年7月25日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	言語聴覚士による言語に特化した視点での支援	発音や語彙の習得だけでなく、伝えたい気持ちを引き出す関わりを大切にし、コミュニケーション意欲の向上を図っている 保護者へのフィードバックや家庭での声かけの工夫などを共有し、一貫した支援が行えるよう努めている	保護者からの聞き取りや家庭での様子の共有を深め、支援に活かすとともに、家庭での関わりにもつながる具体的な助言を行っていく
2	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援や子どもと保護者のニーズが客観的に分析されたうえで、個別支援計画が作成されている	見学・アセスメントの時間をしっかり確保し、お子さまの現状やご家族の思いを丁寧に伺っている 発達検査を実施している場合はその結果も確認し、個別支援計画に反映している	引き続き多角的な評価（例：発達検査、観察、保護者からの聞き取り等）を取り入れる 計画策定後のモニタリング体制を強化し、定期的な見直しを行うことで、より柔軟かつ効果的な支援につなげる
3	事業所は清潔で、心地よく過ごせる環境になっている 子ども達の活動に合わせた空間となっている	子どもの発達段階や特性に応じた玩具や教材を、視覚的に分かりやすく配置し、見通しが持てるようにしている 衛生面に配慮しつつも、温かみのある素材を取り入れ、家庭的で落ち着いた雰囲気を大切にしている	子どもや保護者にとっても安心感を得られるよう、掲示物や案内表示の整備・見直し 季節感や子どもたちの興味・関心に応じた装飾や環境構成の工夫を行う

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所の設備は障害特性に応じてバリアフリー化や情報伝達などへの配慮がなされているか	バリアフリー化については、東京都のバリアフリー条例を満たし、基本的な設備面での配慮はなされている。ただし、発達特性や感覚過敏など、個別ニーズへの対応については物理的・構造的な限界もあり、さらなる環境調整の必要性を感じている。	改善に向けては、視覚的サポートなど、発達特性に配慮した環境調整が必要である。また、個別の配慮を職員間で共有し、保護者の意見も取り入れながら柔軟な対応を進めていく必要がある。
2	非常時の対応に対する利用者への案内や周知、実施	個別支援のため保護者には見学を案内しており、待機中に重要書類やマニュアルを読むことが難しい。また、限られた支援時間の中での避難訓練については、「療育を優先してほしい」との要望もあり、全利用者を対象とした実施には至っていない。	見学時や面談時には必ず口頭説明+マニュアル場所の案内 療育プログラムの中に“模擬訓練”として個別の導線確認 避難訓練の実施や非常災害、感染防止等についてLINEや掲示等を利用し、周知する。
3	家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会 父母会や保護者交流の機会	個別療育を中心に提供しており、保護者からも個別対応を求める声が多いため、集団的な支援（家族支援プログラムや保護者交流など）のニーズが見えにくい状況にある。また、療育後の個別相談を優先しているため、全体向けのプログラムは実施に至っていない。	療育時間に保護者と直接相談・情報共有を行うなど個別ニーズに応じた対応は実施している。今後も個別対応を中心に行い、個別療育だからできることを提供し、支援に繋げていけるよう努めていく。